

講座名	森林環境教育 船橋県民の森 自然ウォッチング 4月		
開催日時	2024 年 4 月 21 日(日) 10 時 ~ 12 時		
開催場所	船橋市 船橋県民の森	一般参加者	16名

活動概要・船橋県民の森で毎月行う親子自然ウォッチング
 テーマ：新緑の森で生き物探検

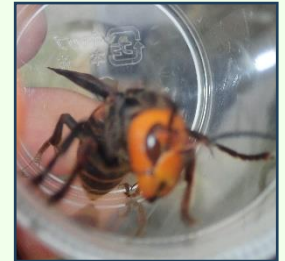
新緑の森と生き物の様子を観察しました。森は日に日に緑が濃くなり、冬を越した卵からもソクソクと虫の赤ちゃんが生まれています。この1年の自然観察のウォーミングアップを兼ねて、ゆっくり観察して回ったので、みんなたくさんの生き物を見つけました。



春と言えばまず、枝からぶら下がって来るイモムシ、ケムシです。毛嫌いする人も多いのですが、これから子育てする鳥たちの大切なタンパク源です。シジュウカラの親子が1年間に食べるイモムシは300万匹近いという話をしました。



芝生の広場ではヤブキリの幼虫を始め、シャクトリムシ、日本ミツバチ、ゴミムシ、ハサミムシ、ヤマトシリアゲなど虫探しが止まらなくなり、圧巻はFICメンバーがこの時期だけ単独行動をする、オオスズメバチの女王バチを捕獲し、歓声が上がりました。



湧水にはアズマヒキガエルのオタマジャクシがうごめき、子ども達

は水辺から離れません。枯葉や樹皮の下からもいろいろな物を見つけてきてくれます。カメムシも人気者です。



・トチノキの芽吹き



・エゴノキハヒラタマルフシ



・春のキノコ アミガサタケ



森の奥では、枝にとまったフクロウを静かに観察することができました。県民の森周辺はまだ畑や森が残り、生態系が豊かなのでフクロウも暮らせます。発見の多い春の1日でした。

講師：植村 敦子

アシスタント講師：金井、高橋(美)、高野、羽根、平尾、三輪、森田、山内、山家